

「豊かな教育を子どもたちに」

I 研究内容

1 研究内容の具体的内容与方法

(1) 甲州支会と山梨支会に分かれ、それぞれの課題について研究を進めた。

ア 甲州支会…『より良い教育環境整備をめざして』

○予算分析調査の継続と、その結果を踏まえ「要望書」を作成

○予算要求についての取り組み

○甲州市小中学校文書分類基準表についての取り組み

「予算分析調査」「要望書」「職員会議提案資料」「予算要求とヒアリング」「文書分類基準表（資料調査）」についての研究。

イ 山梨支会…『学校事務の組織化』

○学校事務の標準化と職務の見直しの取り組み（学校間・行政機関との連携）

○各校の予算分析を予算要求につなげる取り組み

「本年度当初予算・前年度決算の分析」「臨地研修」「次年度予算要求とヒアリングへの取り組み」「学校徴収金（公費・私費）」「市事務担当者会との連携」について研究。

(2) 東山梨教育環境白書の作成に協力するため「教育財政の実態」と「教育環境の実態」についての調査。

II 成果と課題

1 成果

(1) 甲州支会

予算については、継続して予算分析調査を行うことで、自校の特徴、他校との比較、市教委の意向が明確になり、課題を把握することができた。また、課題解決のために要望書を作成し、提出にむけての取り組みを行った。予算要求については、統一した職員会議資料を使って、市内が同一歩調で職員の説明や、要求書の作成に当たれたのは良かった。予算要求の実務では、市教育委員会との質疑応答など事務担当者打ち合わせ会の中で提案されることもあり、来年度はこの連携を活かし、より良い教育環境の整備のために取り組んでいきたい。

今年度より文書分類基準の作成のため資料を収集し、山梨市とも文書分類基準についての交流会を行い、現状の話聞くことができたのは参考になって良かった。来年度より検討を開始するが、甲州市の現状にあった分類基準となるよう研究を進めていきたい。

(2) 山梨支会

学校予算について前年より継続して決算・推移分析を行ったが、校内での職員会議資料や、市教委との予算ヒアリング時に有効に活用することができた。推移の数値を入力してデータを作成する作業を行うことによって、改めて自分自身でも配当予算の推移を確認することができる。また、各校の予算推移を持ち寄り、学校の実態と併せて分析の説明をしてもらうことによって、山梨市全体の状況を把握することができるので、

予算要求時にはとても説得力のある資料となる。年度の前半で推移について分析し、予算要求の時期に合わせて要求項目の確認、ヒアリング終了時の情報伝達、内容のまとめと、年間を通して良い流れができていますので、来年度以降も継続して取り組んでいけたら良い。

## 2 課題

### (1) 甲州支会

予算分析を数年継続しているが、それを予算要求にどのように活かしたか意見交換をする必要があった。要望書については、要求の内容、要求の仕方など事務打ち合わせ会とも関わって再検討しなければならない。県教研で意見をいただいたように他支部の状況も参考にしながらより良い方法を考えていく必要がある。

また、今年度資料収集を行った文書分類基準については、甲州市の条例や現状を踏まえ、取扱規程や要綱を含めて検討を行っていききたい。

継続して問題解決に当たっている課題は多いが、今後も粘り強く取り組みたい。

### (2) 山梨支会

公費が減額されている中で、私費についての分析も取り組みたい。私費の事務処理や校内の体制等の情報を交換し合い、私費の有効的な活用について研究をしていきたい。

臨地研修にてエネルギーについての学習をしたように、様々な情報を吸収することによって、視野が広がり、校務の幅を広げることができる。山梨市は太陽光発電システムやペレットストーブが各校に設置されているので、学習したことを活かして校内でも有効活用できると良い。来年度も今年度同様に、有意義な学習の機会が得られれば良いと思う。

会の中で毎回情報交換を取り入れているが、事務処理の疑問や課題解決に繋がるとても大切な時間となっているので、来年度以降も取り入れていきたい。

### (3) 全体として

来年度も同一会場での支会ごとの分散会形式をとり、折々に情報交換を行っていききたい。

## Ⅲ 成果物

### 1 甲州支会

- 予算分析調査（分析表・試算表・分析グラフ）
- 予算に関わる要望書
- 職員会議提案資料（予算要求にむけて）

### 2 山梨支会

- 学校配当予算分析表，学校配当予算一覧表，学校配当予算・決算一覧表
- 就学援助費事務処理システム市内統一データ化
- 市教委との予算要求ヒアリングの定着
- 市事務担当者会との連携

（部長 杉原聡子）